

小児科

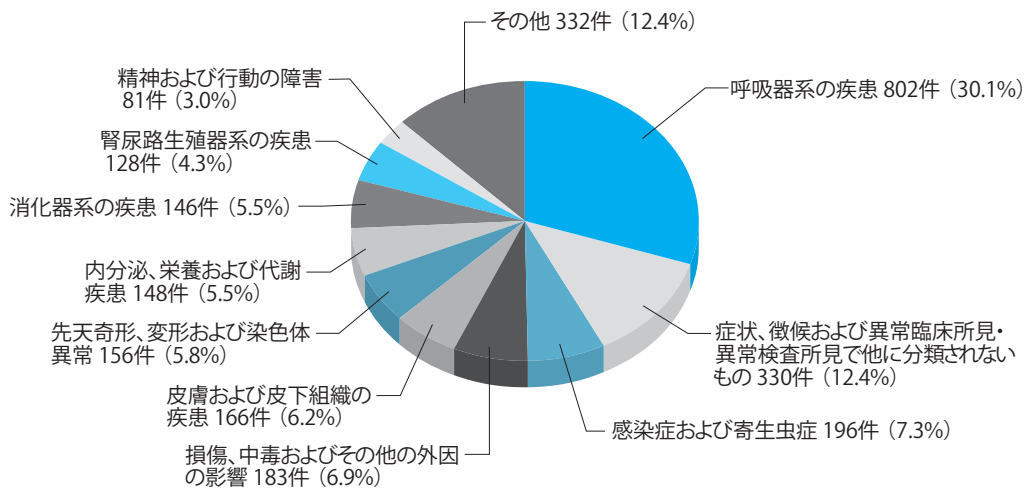
1. 概要

当小児科病棟スタッフは皆、東三河地域の最後の砦を担うという誇りと緊張感を持って日夜対応している。サブスペシャリティとしてはアレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし、高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患者には最善の医療を提供すべく、各分野で対応困難な症例については惜しみなく専門施設との連携をとって対応している。このような体制を維持する意義は、極力地域で医療が完結することが患者家族への最高のサービスの一つとなることにある。特に長期入院を必要とする場合、月に何度も専門外来にかかる必要がある場合には切実な問題である。一方で、周囲の一次医療、二次医療、休日夜間診療所の業務、健診医療の充実に支えられてこそ当院が二次、三次医療に集中することが可能であるということも忘れてはならない。

(第二部長 伊藤 剛)

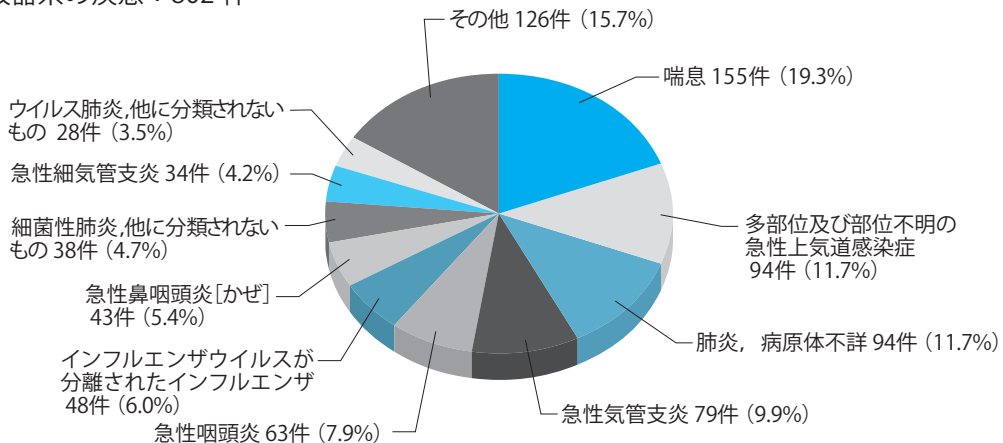
2. 新規登録疾患

総件数：2,668件

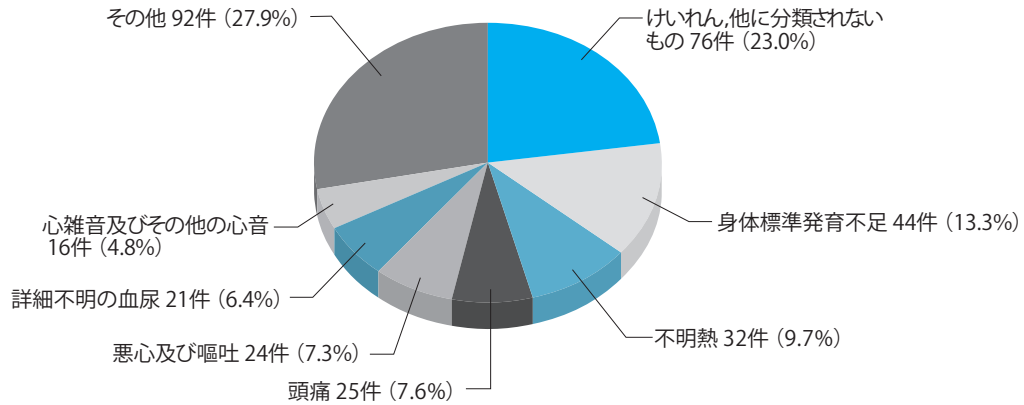


上位3位の詳細

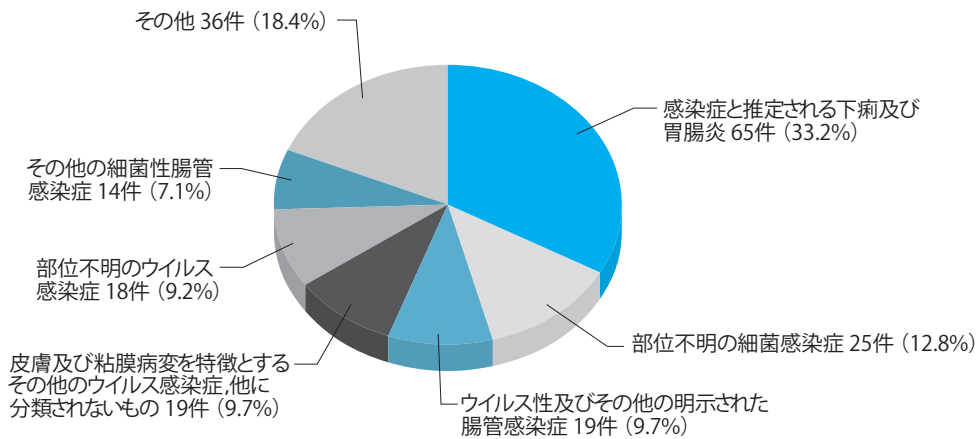
(1) 呼吸器系の疾患：802件



(2) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの：330 件



(3) 感染症および寄生虫症：196 件



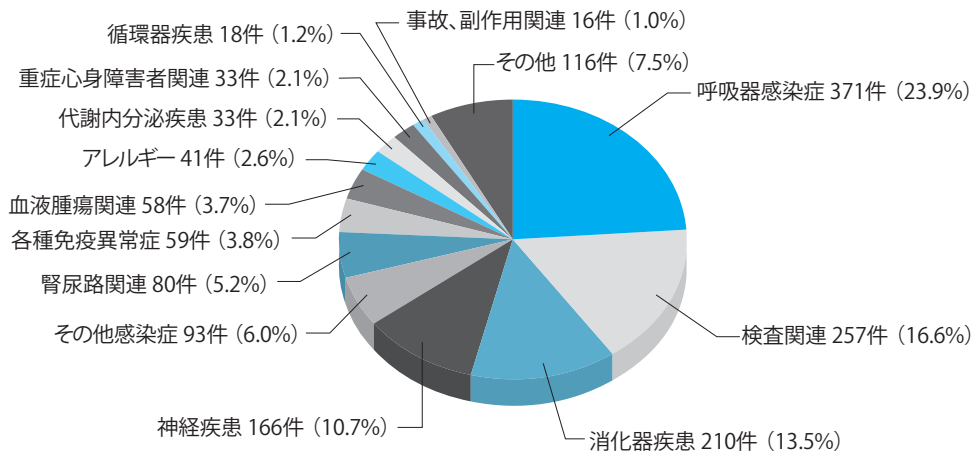
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	30,341人	年間外来新患者数	2,859人
年間入院患者数	20,498人	年間入院新患者数	1,895人

(2) 入院患者疾患別頻度

総件数：1,551件



学会発表（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	クروتナーゼ欠損症の一例	筆頭演者	佐久間 肇	第44回日本小児神経学会 東海地方会	名古屋市	2016/1/23
2	Tumefactive demyelinating disease (TDD) として発症した多発性硬化症 (MS)	筆頭演者	真島 久和	第44回日本小児神経学会 東海地方会	名古屋市	2016/1/23
3	特発性気腹症の一例	筆頭演者	太田 隆徳	第266回日本小児科学会 東海地方会	津市	2016/2/7
4	IgE-dependent mechanism and successful desensitization of erythritol allergy	筆頭演者	Shiro Sugiura	AAAAI Annual Meeting 2016	Los Angeles	2016/3/6
5	尿路狭窄による腎機能障害を認めた先天性表皮水疱症の男児例	筆頭演者	田中 一樹	第119回日本小児科学会 学術集会	札幌市	2016/5/13
6	ファブリー病の兄弟例	筆頭演者	小山 典久	Meet the Experts	名古屋市	2016/6/4
7	当センターにおける後部尿道弁8症例の臨床経過	筆頭演者	田中 一樹	第51回日本小児腎臓学会	名古屋市	2016/7/7
8	NIV-NAVAと一酸化窒素吸入療法の併用が人工呼吸器離脱に有効だった重症慢性肺疾患の1例	筆頭演者	横井 克幸	第52回日本周産期・新生児医学会総会学術集会	富山市	2016/7/17
9	特異的IgE抗体価陰性だが好塩基球活性化試験陽性であったリンゴアレルギーの1例	筆頭演者	横井 克幸	第53回日本小児アレルギー学会	前橋市	2016/10/9
10	13q22.2q34 tetrasomy mosaicism due to an inverted duplication with a neocentromere	筆頭演者	Toshihiko Hattori	ASHG2016 Annual Meeting	Vancouver	2016/10/19
11	早発黄疸で発症し破碎赤血球を認めた遺伝性楕円赤血球症の1例	筆頭演者	五藤 智子	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/2
12	人工肛門閉鎖術後に腹壁内気腫を伴う壊死性軟部組織感染症を発症した超低出生体重児の1例	筆頭演者	太田 隆徳	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/2
13	小児科研修における理想の新生児研修とは	筆頭演者	横井 克幸	第61回日本新生児成育医学会・学術集会	大阪市	2016/12/3

研究会発表（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	二重学籍不可の壁を乗り越えて～院内学級における前籍校との繋がりの大切さ～	筆頭演者	伊藤 剛	第29回愛知県病弱児療育研究会	名古屋市	2016/1/30
2	当初Lemierre症候群として対応した上咽頭がんの一例～新しい傍腫瘍症候群の可能性～	筆頭演者	伊藤 剛	第69回東海小児がん研究会	名古屋市	2016/1/30
3	豊橋市民病院新生児医療センター～近年の診療成績と長期的な課題	筆頭演者	幸脇 正典	第181回東三河小児科医学会症例検討会	豊橋市	2016/4/20
4	過去10年間に虐待を疑い通告を行った死亡例の検討	筆頭演者	佐久間 肇	第5回日本小児診療多職種研究会	横浜市	2016/7/30
5	新生児乳児胆汁うっ滞と遺伝子解析	筆頭演者	戸川 貴夫	第38回胆汁酸研究会	久留米市	2016/11/26

座長・司会（医局）

<小児科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	演題 病理検討	伊藤 剛	第69回東海小児がん研究会	名古屋市	2016/1/30
2	座長	講演 医療機関における児童虐待対策の取り組みについて	小山 典久	豊橋市民病院児童虐待講演会	豊橋市	2016/2/4
3	座長	一般演題 急性腎炎症候群1	田中 一樹	第51回日本小児腎臓病学会	名古屋市	2016/7/9
4	座長	一般演題 小児泌尿器科3	田中 一樹	第38回日本小児腎不全学会	岐阜市	2016/10/27
5	座長	講演 バイタルで診る危急疾患～バイタル評価を重視しましょう～	小山 典久	第2回小児救急研修会	東京都	2016/10/30
6	座長	特別講演② 疾患特異的iPS細胞を用いた病態の解析－炎症性疾患を中心に－	伊藤 剛	第184回東三河小児科医学会学術講演会	豊橋市	2016/11/12
7	座長	基調講演 みんなで家庭看護力を高めよう！～保護者にもできる初期対応（トリアージ）、判断！～	小山 典久	第2回家庭看護力醸成セミナー	兵庫県	2016/11/27
8	座長	基調講演 小児救急医療情報ツールの有効活用	小山 典久	第2回家庭看護力醸成セミナー	兵庫県	2016/11/27
9	座長	講演 小児結核診療の実際	小山 典久	平成29年度医療機関BCG予防接種講習会	豊橋市	2016/12/3
10	座長	調査研究報告会	小山 典久	平成28年度特別講演会・調査研究報告会	名古屋市	2016/12/10
11	座長	特別講演会 医療事故調査制度の現在と課題	小山 典久	平成28年度特別講演会・調査研究報告会	名古屋市	2016/12/10

講演（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	児童虐待対応における医療機関の役割	小山 典久	八千代病院虐待防止勉強会	安城市	2016/1/14
2	乳幼児期にかかりやすい病気についてとその対処法や注意点について	小山 典久	豊橋保育協会研修会	豊橋市	2016/6/30
3	障害のあるこどものこまごまな病態と対応について	小山 典久	豊橋特別支援学校研修会	豊橋市	2016/8/30
4	子どもの病気について	小山 典久	豊橋市社会福祉協議会 ファミリーサポートセンター会員講習会	豊橋市	2016/11/2

論文・著書(医局)

<小児科>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	Single nucleotide polymorphisms in AGTR1,TFAP2B, and TRAF1 are not associated with the incidence of patent ductus arteriosus in Japanese preterm infants.	筆頭著者	Koya Kawase	Pediatr Int.. 2016; 58: 461-466.
2	IgE-Dependent Mechanism and Successful Desensitization of Erythritol Allergy	筆頭著者	Shiro Sugiura	Ann Allergy Asthma Immunol. 2016; 117: 320-321. e1.
3	赤血球濃厚液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板を混合した血液の性状と交換輸血使用血としての適格性に関する検討	筆頭著者	小山 典久	日新生児成育医会誌. 2016; 28: 77-83.
4	急性期管理 呼吸・循環管理と検査	筆頭著者	幸脇 正典	Neona Care. 2016; 29: 502-507.
5	血液製剤の院内分割マニュアル	筆頭著者	藤田 浩	日輸血細胞治療会誌. 2016; 62: 673-683.
6	赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン(改訂2版)	筆頭著者	奥田 誠	日輸血細胞治療会誌. 2016; 62: 651-663.
7	第3章 新生児に行われる主な治療(13) 輸血と輸血製剤	筆頭著者	小山 典久	新生児の疾患・治療・ケア. 第2版 2016, p.264-p.269.